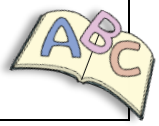
飛躍

森町立旭が丘中学校　第３学年
学年通信　第２号
２０２０年　４月　８日（水）
文責　太田　雄司

１年間　よろしくお願いします！！

今回は３年部職員からの言葉を紹介させていただきます。

＜１組担任　藤根　聖太＞
１・２・３年と持ち上がれたこと、本当に幸せに思います。この２年間でたくさんの生徒に身長で抜かされ、時間が経つ速さと生徒たちの成長を実感しました。最後の１年間で、心も体もさらに成長することと思います。とても楽しみです。最後まで誠心誠意努めて参ります。よろしくお願いいたします。



＜２組担任　金子　裕史＞
初めまして。本年度から旭が丘中学校に参りました金子裕史と申します。中学校生活最後、また義務教育最後の１年を担当することになり、改めて責任と期待を感じています。個人的に３年連続の３年担任です。旭が丘中学校の一員として、皆さんと楽しく充実した生活ができるよう全力で頑張ります。よろしくお願いします。

＜３組担任　種田　正　＞
コロナウイルスによる休校期間に生徒のいない時間を過ごし、改めて当たり前の日々の大切さを実感しました。そんな中で今年度も愛着のある学年を担当させていただくことができ、幸せな気持ちでいっぱいです。どの生徒にとっても義務教育の締めくくりにふさわしい、素晴らしい１年となるよう、全力でサポートしていきたいと思います。よろしくお願いします。

＜学年付　　半田ひな乃＞
新規採用で旭が丘中学校に赴任することになりました半田ひな乃です。出身は富士宮市で、担当教科は英語です。明るく元気に、全てに全力で取り組みます。至らない点もあるかと思いますが、中学校生活最後の１年が素晴らしいものとなるよう、精一杯励んでまいります。１年間よろしくお願いします。

＜学年主任　太田　雄司＞
今年度も学年主任として生徒たちと関わることができ、とても嬉しく思います。いよいよ「進路実現」「感動の卒業式」という中学校生活最大の目標の実現に向けて、勝負をする１年となりました。目標を達成するためにも、今年度も、どんなことにも本気で、全力で取り組ませたいと考えています。そのためにも生徒とともに常に前向きに・全力で、一日一日をしっかりと積み重ねていきたいと思います。今年度もよろしくお願いいたします。

６日の入学式準備や昨日の新任式・始業式での生徒の表情。様々な活動に意欲的に取り組む姿を見て、中学校生活最後の１年にかける思いや中学校生活最大の目標を実現させようという決意や強い意志を感じることができました。また最上級生としての強い自覚と責任感を見てとることができました。とても心強く・頼もしく感じるとともに、我々職員も生徒に負けない強い気持ちで一日一日を全力で過ごしていこうと改めて思いました。さて、３年生は全ての活動において「中学校生活最後の〇〇」という言葉がついてきます。夏になれば２年以上続けてきた部活動が終わります。体育大会や飛躍祭などの各種行事も最後です。それらの先に受検、そして卒業が待っています。そう考えると、この１年間はかなりハードな時間となります。その分責任が重くなり、大きな決断を迫られるときが訪れます。しかし、その経験の量だけ自分自身を成長させることができるはずです。どれだけ成長した姿で卒業式を迎えられるか？スタートはすでに切られています。

全員が満足できるゴールを迎えるためには、「***誰からも応援される３年生⇒誰からも応援される受検生⇒誰からも応援される卒業生***」を体現させることが重要です。だからこそ、９９人の３年生全員が「**常に全力**」、そして「**素直に・謙虚に・前向きに**」学校生活を送ってほしいと思います。笑ったり、喜んだり、時には涙を流したりしながら、大きく成長していける１年にしてほしいと思います。もしかすると、同じような日々の連続でつまらないと感じるかもしれません。しかし、その日は生涯に一度だけです。過去は取り戻せません。変えることもできません。一度しかない今を積み重ねた先に自分の将来があります。今の自分を変えることで輝く未来を創ることができます。生かされている命に感謝し、一日一日を後悔しないように全力で過ごすことが、来年の３月に「**進路実現**」「**感動の卒業式**」という大輪の花を咲かせることにつながっていくはずです。